

港区立赤羽小学校  
令和4年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年相応の平仮名・片仮名・漢字の読み書きが難しい児童が1～2割いる。</li> <li>・文章を順序立てて書いたり、自分の考えを文章で表現したり、「書くこと」に課題がある。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方位、地図記号、都道府県の名称と位置など、基本的な知識が定着していない児童がいる。</li> <li>・資料から必要な情報を見つけたり、複数の資料を読み取り比較・関連付け・総合して考えたりすることに課題がある。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四則計算が正確にできない児童が1～2割いる。</li> <li>・図形概念、作図、面積の求め方など、図形の領域の理解に課題がある。</li> <li>・様々な方法で考えたり、考えを説明したりする意欲が低い児童がいる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験器具の基本的な知識や技能が不足している。</li> <li>・予想や仮説を基に解決の方法を考えたり、実験結果から考察したりすることに課題がある。</li> </ul>

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや伝えたいことを明確にし、相手に伝わるように書き表す力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書と連携して読書活動を充実させ、楽しみながら文章・言葉に触れる機会を増やす。また、国語辞典を使った意味調べ、漢字クイズ、タブレット端末を使った漢字指導など、児童に興味をもたせて繰り返し学習に取り組ませ、語彙を増やし書く力を向上させる。</li> <li>・日記や短作文等を継続し、日常的に書く活動を行うことで文章を書く抵抗感を軽減させる。低学年では良いモデル文をもとに書き方を身に付けさせ、高学年では引用・図表を用いて説明する方法や、構成メモ書いてから文章を書く方法を身に付けさせるなど、書き方を身に付けさせることで自分の考えや伝えたいことを書き表す力を向上させる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から必要な情報を読み取り、社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題を追究・解決する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図づくり、地図記号や都道府県クイズ、タブレット端末の活用を通して楽しみながら基本的な知識を定着させる。</li> <li>・資料の提示を工夫し、興味・関心をもたせる。また、複数の資料をもとに調べ、比較・関連付け・総合して考え、書いたり発表したりする活動を設定し、問題を追究・解決する力を向上させる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>・図形についての感覚を豊かにするとともに、数学的に考えることや数理的な処理のよさに気づき、算数の学習を進んで生活や学習に活用しようとする力</p>	<p>・計算の意味を考える活動や習熟の時間を十分にとり、定着を図る。また、具体物を用いて考えたり、図形をつくって考察したり、タブレット端末を用いて図形を操作したりする活動を繰り返し、図形を構成する要素やそれらの位置に着目して図形の性質を理解させる。</p> <p>・自分の考えを式や図、文章で表し、ペア・グループ・全体等の話し合い活動を工夫し、問題解決を実感させる活動を行い、生活や学習に活用しようという意欲を向上させる。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>・自然に親しみ、見通しをもって観察や実験を行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどして問題を解決する力</p>	<p>・自然事象との出会いを重視し、既習の内容や生活経験を基に共通点・差異点を整理・比較し、問題を見いださせるようにする。</p> <p>・実験・観察器具の正しい使い方の資料を提示し、使用前に確認し、繰り返し行うことで、基本的な知識・技能を定着させる。また、タブレット端末を適切に活用できるようにする。</p> <p>・予想から考察までの一連の流れを大切に、個で考え、グループで考えを共有する時間を確保する。併せて思考の流れに沿ったノート指導を行い、問題を解決する力を向上させる。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<p>・身近な自然や人々に興味をもち、自ら働きかけ、その特徴やよさに気づき、自分自身や自分との生活で考え、表現する力</p>	<p>・校庭の様々な自然を観察する活動や、植物を育てる活動を通して、動植物への親しみや大切にしようとする心を育てる。</p> <p>・異学年の児童や幼児、地域の様々な人との交流を図り、親しみや愛着をもち、それらを相手に伝えるように表現したり、適切に接しようとしたりする態度を育む。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<p>・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲の演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴く力</p>	<p>・低学年では、体の動きを伴いながら歌ったり聴いたりすることで、曲の雰囲気を感じ取り、音楽の楽しさを味わえるようにする。また、友達の歌声や演奏の響きを聴きながら、音を合わせて演奏することを通して、共に歌唱したり演奏したりする楽しさを味わわせる。</p> <p>・[共通事項]を要として音楽を形づくっている要素を聴き取ったり、それらが生み出すよさや面白さや美しさなどを感じ取ったりしたことを言葉でも表現する活動を行う。また、少人数での意見交換、学習プリントや児童の発言のまとめ方の工夫などを行い、協働して学ぶ活動を通して、表現や鑑賞に生かす。</p>

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手や体全体を十分に働かせ、材料や用具を使って表し方を工夫することや、豊かに発想や構想をし、つくりだす喜びを味わったり自分の見方や感じ方を広げたりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現方法に応じた材料や用具の活用の例を示したり、前学年までの経験や技能を総合的に生かせる題材を設定したりすることを通して、適切な材料・用具の扱いができるように指導し、表したいことに合わせて工夫して表せるようにする。</li> <li>・鑑賞の活動を通して、自分たちの作品や世界の美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりする機会を設け、自分の見方や感じ方を広げる。</li> </ul>

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、自分の生活に活用する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理や裁縫について、手順や留意点を図・写真・動画等で提示して段階的に実践させたり、児童が教え合う活動を設定したりし、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる。</li> <li>・学習したこと(調理や家庭での仕事等)を家庭で実践するなど、家庭生活で生かせる学習のサイクルを考えて指導し、生活に活用する力を向上させる。</li> </ul>

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に親しみ、健康の保持増進と体力向上をめざし、主体的に取り組む力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間の外遊びの取行、体力向上タイム(縄跳び)、体育的行事を通して、日常から運動に取り組むことができる環境を整え、体力を向上させる。</li> <li>・教材教具を工夫して運動の楽しさを味わわせるとともに、学習カードやタブレット端末を活用した動画で自分自身の技能の高まりを確認できるようにし、主体的に取り組む力を向上させる。</li> </ul>

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わりに必要な自己表現力や国際社会に対応するためのコミュニケーション能力の基礎となる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NTと連携し、英語の発音・表現に親しませる。</li> <li>・歌やゲームなどのアクティビティを意図的に取り入れ、NTと児童、児童間での積極的な発話を促し、楽しみながら英語に親しめるようにする。</li> <li>・「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の言語活動を1～6年の発達段階に合わせて計画的に指導し、コミュニケーションの力を向上させる。</li> </ul>

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・自分自身や他者を大切にし、よりよく生きようとする心情や判断力、実践する力	・身近な事例や事前アンケート結果、自分の生活と結びつけて考えさせるなど工夫するとともに、自分自身のことを振り返る時間を設定し、自己を見つめ、自分の生き方についての考える学習を展開する。 ・ペア・グループ・全体等で話し合ったり、タブレット端末を活用して意見交流したりし、互いの考えや価値観を共有し、よりよい自分のありようを考え、実践しようとする力を育む。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する力	・計画的に話し合い活動を実施し、少数の意見も大切にしながら合意形成することや、決めたことを実践して振り返り次回に生かす経験を積ませ、集団や自己の生活上の課題を解決する力を育む。 ・学校行事では、児童に目標をもたせ、見通しをもって活動に取り組ませるとともに、振り返りの時間を設定し、達成感や自己有用感を高めたり、互いのよさに気付かせたりする。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・実社会や実生活の中から問いを見だし、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく力	・児童が主体的に探究的な活動(自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する)に取り組めるよう、学校や地域の特徴を生かした横断的・総合的な学習計画を設定する。 ・教科学習や体験活動と関連付け、調査・まとめ・発表方法を学年の発達段階に応じて計画的に指導し、タブレット端末の活用など多様な方法の中から児童が選択し、課題を解決し、自己の生き方を考えていく力を育む。